



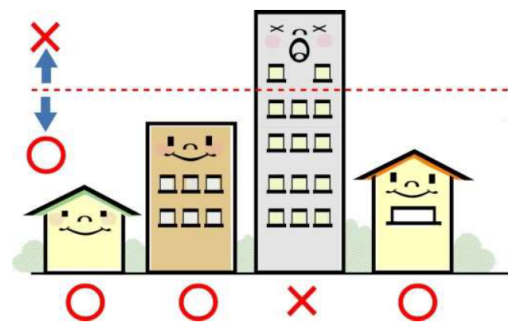

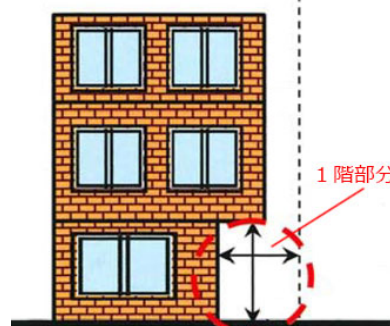
# 太子堂2・3丁目地区取り組み（例） 資料2

目的	改善策	
<p>○円滑な消化救援活動や避難のため</p>	<p>①主要な道路の 拡幅</p>	<p><b>拡幅</b></p> <p>【事例】若林三丁目 安全な避難路をつくるため、 門や構等の工作物を 道路の中心から 3m以上後退させる</p>   <p>安全な避難路をつくるため、道路の拡幅を図ります。</p>
<p>○行き止まり路の 改善 ○円滑な避難や消化 救援活動のため</p>	<p>②通り抜け路の 整備</p>	 <p>災害時の安全性が向上するよう、2方向の避難経路を確保します</p>
<p>○空間確保による 防災性の向上 ○住環境の改善</p>	<p>③小公園ポケット パークの整備</p>	 <p>密集地での防災性向上を図るため、公園・ポケット広場の整備を位置づけることができます</p>

# 太子堂2・3丁目地区取り組み（例） 資料2

目的	改善策	
<p>○建物等の 防災性を高める</p>	<p>①建物の不燃化</p>	<p>防火上の対策がとられていない 木造建築物</p> <p>準耐火構造の木造建築物</p>  <p>燃えにくい街づくりを促進するため、建築物の構造を誘導します</p>
<p>○道路とその沿道の 防災性を高める</p>	<p>②ブロック塀等の 規制</p>	 <p>みどりの空間を増やし、また安全な避難経路を確保するため、垣やさくの構造を誘導します</p>
<p>○空間を確保して 防災性を高める</p>	<p>③ゆとりの確保</p>	 <p>敷地の細分化を防ぐことができます</p>  <p>建物まわりの日照・採光・通風の確保や災害時の通行に役立つ空間を確保できます</p>

# 太子堂2・3丁目地区取り組み（例） 資料2

目的	改善策	
<p>○地区にふさわしい建物利用の制限</p>	<p>④建物の使い方（建物用途）</p>	 <p>店舗 住宅 ラブホテル 事務所 銀行</p> <p>建物利用の制限を定めて、地区にふさわしくない建物を建てられないようにして良好な環境をつくります</p>
<p>○地区にふさわしい高さの制限</p>	<p>⑤建物の高さの制限</p>	 <p>日当たりや景観等を考慮して、建物の高さを制限します</p>
<p>○緑豊かな街並みの形成</p>	<p>⑥緑化の推進</p>	<p>◆ 緑豊かな街並み形成のために、敷地の中の植栽部分の割合を定めることができます</p>  <p>例えば敷地面積の20%以上を緑化します</p>
<p>○連続した買い物空間の誘導</p>	<p>⑦歩行者空間の確保</p>	 <p>1階部分のみ後退</p> <p>歩行空間の確保するため壁面の位置を制限することができます。このほか「三軒茶屋銀座商店街街づくり協定」による取り組みがあります</p>